

障がい者雇用優良事業所

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長努力賞

○社会医療法人 耕和会（宮崎市）

業種：医療業（医療業）

従業員：341人



宮崎市の大淀川沿いに1987年 迫田病院を開設。その後介護施設などを開設し2017年に社会医療法人となる。障がい者に対する考え方の基本は、前理事長が子供の頃に母親が事故で脊椎損傷し寝たきりになり、どのような状態であっても希望をもって生活できるようにしてあげたいと思い、自分であつたらどうされたいかを常に考えるようになったことが原点にある。

障がい者数は、身体障がい4名、知的障がい3名、精神障がい5名、計12名、雇用率は、R6年 4.68%と高い。

障がい者の職務内容として、精神・身体障がいの方は病院病棟での看護業務や放射線業務、栄養課で皿洗いや食器の片付け、食材の準備などの調理補助、知的障がいの方は、主に市内の主要3老人施設で入所の方や通所の方の部屋のごみ収集、床の掃除機・モップ掛けなどの清掃や入浴の準備、ベッドメイキング、トイレの排泄の補助などの介護補助業務、また、重度身体の方で施設の営繕係に所属しながら受付や郵便物の仕分け、電話対応、PCでの資料作りなど総務全般の事務補助業務に付いている方もいる。

模範となる取組として、介護補助職をしている障がい者本人から、「介護補助」ではなく「直接介護」をしたいとの希望があり、介護職員初任者研修を受講できるように補助費用の会社負担や業務スケジュールの配慮などを行っている。また、両上下肢障がいの重度身体障がいの方が認知症介護基礎研修のオンライン受講する時、役職者が付き添って解説しながら受講できるようにしている。このように本人が学びたいことやチャレンジしたいことに対して、障がい者の未来志向を実現するために業務を調整するなど積極的にバックアップしている。このことがスキルアップと働く意欲や仕事に対するモチベーションアップとなり、障がい者の職場定着が進んでいる。

また特別支援学校を卒業後、現在老人施設で清掃業務を中心に働いている知的障害の方が、その意欲的な働きぶりや、明るく職場に溶け込んでいる姿を、卒業した支援学校で卒業OBの体験談として支援学校で話をする取組を行い、施設としても前向きに支援した。このことが、本人にとって大きな自信となり仕事のモチベーションが上がった。

このように障がい者のスキルアップと自立支援に積極的な優良企業である。